

平成25年度第6回青森市指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市浪岡交流センター
- 2 開催日時 平成26年2月20日(木) 13:50~15:00
- 3 開催場所 青森市浪岡交流センター
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎(市長公室次長)
委員 岩船 彰(青森中央学院大学教授)
委員 西村 晴夫(東北税理士会青森支部税理士)
 - (2) 制度所管課(事務局) 市民政策課 主幹 福島 清裕
主事 石戸谷 勉
主事 田中 浩司
 - (3) 施設所管課 地域づくり振興課 課長 木浪 経彦
主幹 船水 良誠
主査 齊藤 葉子
主事 木村 昌晃
 - (4) 指定管理者 特定非営利活動法人ソーシャル・キャピタル・サービス青森
事務局長 鈴木 勇
館長 鎌田 喜代志
副館長 長内 亮太
- 5 欠席者 鈴木 裕司 副委員長(総務部次長)
増田 一 委員(企画財政部次長)
- 6 議題 委員会によるモニタリング調査
- 7 会議概要

施設の管理運営状況等について、各委員から施設所管課及び指定管理者へヒアリングを行い、ヒアリング終了後、施設内を視察した。

(1) 主な質疑内容

委員：職員の配置について、有資格者の配置はどのようになっているか。

施設所管課：甲種防火管理者が必要であるが、適正に配置されており、資格については、修了証書で確認している。

委員：甲種防火管理者は何名いるのか。

指定管理者：2名いる。

委員：職員の研修について、具体的にどのような研修をしたのか。

指定管理者：ITセキュリティと情報発信研修を行った。

委員：観光案内に関する研修は行ったか。

指定管理者：今年度、行った。

施設所管課：指定管理者は、今後、浪岡の歴史についての講習会、いわゆる観光ボランティアガイドを養成するための講習会を実施したいとのことである。

指定管理者：来月から実施したいと考えている。

委員：毎週ミーティングを行っているとのことだが、どのように行っているのか。

指定管理者：毎週、出勤している職員が多い日に行っており、不在の職員へは、文書で引き継いでいる。

委員：ミーティングは何時頃に行っているのか。

指定管理者：利用者が少なくなる午後に行っている。

委員：危機管理マニュアルは作成しているか。

施設所管課：作成し、市に提出している。

委員：職員へマニュアルの内容は周知されているか。

指定管理者：内部研修で周知している。

委員：鍵は、適正に管理しているか。

指定管理者：管理簿を作成して鍵の所在把握をし、適正に管理している。

委員：A E Dは設置しているか。

指定管理者：設置している。

委員：講習会に参加するなど適切に運用できる体制となっているか。

指定管理者：A E D設置業者主催の無料講習会に参加し、操作できる人が勤務するよう、シフトを組んでいる。

委員：個人情報保護に関する体制は整備されているか。

指定管理者：マニュアル等は作成していないが、市の条例に準じて実施しており、不要文書の廃棄はシュレッダーを使用している。

委員：マニュアル等は作成していないとのことだが、必要と思われるので検討していただきたい。

指定管理者：わかりました。

委員：施設の利用方法や業務内容の告知方法は、どのように行っているか。

指定管理者：フェイスブックを活用したイベント情報等の周知や、施設内のモニターを活用しながら告知している。

委員：利用者等の要望把握はどのように行っているか。

指定管理者：施設にご意見箱を設置しているほか、夏休み中に雪体験室を開放しているときはアンケート箱を設置し、利用者の声を汲み取るようにしている。

委員：今までどのような意見等があったか。

指定管理者：イベントに関する好意的な意見はあるが、苦情は無い。

委員：苦情とか改善すべき意見があった場合、その意見に対する対応内容を施設内に掲示したりする考えはあるか。

指定管理者：今後、そのように対応していきたい。

委員：職員各自による自己点検評価を月1回行うとのことだが、どのような内容か。

指定管理者：自己評価シートを作成し、毎月職員が自己評価している。

委員：自己評価した結果は、ミーティング等で活用しているか。

指定管理者：そのようなことは行っていないが、今後、活用していきたい。

委員：この施設はJRと併設の施設だが、JRと連携は図られているか。

指定管理者：これまで、除排雪の分担や防災訓練、それに係る打合せを行うなど、連携が図られている。

委員：降雪により列車が不通になった場合などは、どのように対応されているか。

指定管理者：そのような場合は、早めに施設を開館して、待合室として使っていただくようにしており、これまでも何回かあった。

委員：地域や関係団体と連携は図られているか。

指定管理者：アップル友の会の物販や浪岡商工会が食と産業まつりを行うなど、関係団体と連携しながら、地域と密着した運営を行っている。

委員：関係団体と連携した連絡委員会は設置しているか。

指定管理者：設置に向けて準備中である。

委員：観光・交通情報の収集・提供体制はどのようになっているか。

指定管理者：時刻表や市内のイベント情報などを配置しているほか、県内の観光関連施設からもパンフレットをいただいて配置している。

委員：事業計画書では、独自の観光マップを作成して利用者の利便性を図るとあるが、実際どのような観光マップを作成したのか。

指定管理者：地区内の飲食店等の口コミ情報が掲載された「クチコミマップ」を作成して、施設内に掲示している。

委員：りんご園での薬剤散布に当たっては、周囲へどのように配慮して行っているか。

指定管理者：早朝、利用者がいない時間帯に、園地の周辺をブルーシートで囲み、近くの駐車場を駐車禁止にして行っている。

委員：りんご園の管理は外部委託しているのか。

指定管理者：専門的な知識が必要なものは外部委託しているが、可能なものは自分たちで管理している。

委員：事業計画書では、新たなりんごスイーツなどの商品開発に取り組みたいとあるが、計画は順調に進んでいるか。

指定管理者：今のところ実績は無いが、低温熟成施設活用協議会というものがあり、先日開催した会議において、商品開発を進めましょうという話になった。

委員：協議会はどのようなメンバー構成か。

指定管理者：浪岡商工会やアップルヒル、アップル友の会、それから市の地域づくり振興課、農業指導センター、農業政策課などとなっており、助言をいただいている。

委員：商品開発はすぐにできることではないが、一歩ずつ進めてほしい。

施設所管課：昨年に設立して間もない状況であり、市としても状況を見守っている状況である。

委員：事業報告書評価結果によると、利用率が伸び悩んでいるとのことだが、どう変化したのか。

施設所管課：平成 24 年度は微増しており、更なる利用率の向上を図って欲しいという思いからこのような記載をした。平成 25 年度は、ジオラマ展などが人気を博し、市の直営で施設管理していた時よりも利用者は増えている。

委員：レンタサイクルの利用実績はどうか。

指定管理者：平成 24 年度は、指定管理業務の開始が 10 月からであり、すぐに寒くなってしまったため利用が少なかったが、平成 25 年度は 54 件と増えている。

委員長：施設の管理運営に当たって、指定管理者から市へ意見等あるか。

指定管理者：来館者から非常に喜ばれており、今後もますます喜ばれるよう、また、施設の設置目的を達せられるように、頑張っていきたいと思っている。